科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 IV (ファッション) Career Education IV		2年	後期	木曜日・ 2 時限目
単位数	単位数 授業の形態			授業の性格
1単位	演習	必修		

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

なし。

同時に履修しておくことが望まれる科目

なし。

担当者に関する情報						
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス			
(主) 松﨑勇人、各フィールドのクラス担任	授業中に指 示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します			

業の概要

講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。

授業の到達目標

①就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。②職業適性理解力を身につけることができるようにする。③他者の価値観や個性を理解できるようにし、コミュニケーション力を身につけることができるようにする。④職業を理解する力を身につけることができるようにする。④進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようにする。

授業の方法

基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。

学習の成果

この授業を履修すると、あなたは、

- ①就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができる。
- ②職業適性理解力を身につけることができる。
- ③他者の価値観や個性を理解でき、コミュニケーション力を身につけることができる。
- ④職業を理解する力を身につけることができる。
- ⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができる。
- ⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようになる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	オリエンテーション。シラバスと評価の仕方について。(松崎ハ)。 夏休み中の就職活動についての報告と今後の計画についてひとり5~10分の個別面談を実施する(60分)。9/26
第2回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「グループ面接の練習②」 (90分)。10/3
第3回目	時間の管理と手帳活用術。 (大室)。 講義への感想をグループディスカッションで話し合い、意見を発表する(45分)。10/10
第4回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方2。(秋山) 6/27の講義1の自分の意見を読み直し今回の講話の感想を話し合い、要点をまとめて提出する。課題1。(45 分)。10/17
第5回目	金銭の管理。(國分)。 講義への感想についてグループディスカッションを行い、意見を発表する(45分)。10/24
第6回目	進路状況別のガイダンス。(学生支援委員会・学生支援課)。 内定者:一般常識問題を解く(90分)。 就職活動中の者:個別面談を実施する(45分)10/31

第7回目	租税について。(外部講師)。 講義への感想をグループディスカッションで話し合い、要点をまとめて書いて提出する(45分)。11/7 課題 2
第8回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「社会人としての心得①」(90分)。11/14
第9回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「社会人としての心得②」(90分)。11/21
第10回目	健康管理と余暇の過ごし方1。 (穂積)。 講義への感想をグループディスカッションで話し合い、要点をまとめて書いて提出する(45分)。11/28 課題3
第11回目	健康管理と余暇の過ごし方2。(穂積)。 前回の自分の感想を読み返し、今回の講義と合わせた感想を話し合い、発表する(45分)。12/5 課題4
第12回目	労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険。(山田)。 講義への感想をグループディスカッションで話し合い、要点をまとめて書いて提出する(45分)。12/12 課題5
第13回目	自己啓発。(國分)。 講義への感想をグループディスカッションで話し合い、要点をまとめて書いて提出する(45分)。1/9 課題6
第14回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「職場での人との付き合い方:多国籍企業の場合」(90分)。1/16 課題7
第15回目	まとめ。(松崎ハ)。 ファッション:「ワークライフバランス」について キャリア教育 I ~IVを通して得たものは何かについて話し合い、発表する(45分)。1/23

成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
受業参加態度		最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与 えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート		10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
周查報告書		

中間・学期末試験

発表内容(態度含む)

教科書と参考図書

小テスト

その他

『就職活動ガイドブック』 (非売品のため購入する必要はない。) 参考書は講義中に適宜指示する。

履修上の心得・ルール

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 IV (健康スポーツ) Career Education IV		2年	後期	木曜日・2時限目
単位数 授業の形態		授業の性格		
1単位	演習	必修		

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

to 1

同時に履修しておくことが望まれる科目

なし。

担当者に関する情報					
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス		
(主) 松﨑勇人、山内健次	授業中に指 示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します		

授業の概要

講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業 に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。

授業の到達目標

① 就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。② 職業適性理解力を身につけることができるようにする。③ 他者の価値観や個性を理解できるようにし、コミュニケーション力を身につけることができるようにする。④ 職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤ 進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥ できるようにする。⑥ 他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようにする。

授業の方法

基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。

学習の成果

- この授業を履修すると、あなたは、
- ①就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができる。
- ②職業適性理解力を身につけることができる。
- ③他者の価値観や個性を理解でき、コミュニケーション力を身につけることができる。
- ④職業を理解する力を身につけることができる。
- ⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができる。
- ⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようになる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	オリエンテーション。シラバスと評価の仕方について。(松崎ハ)=60分 フィールド別オリエンテーション(担当:山内) 履修指導=30分 9/26
第2回目	フィールド別ガイダンス=90分 就職未内定者=進路個人面談① (担当:山内) 就職内定者=資格試験対策問題の実施(担当:山内) =90分 10/3
第3回目	時間の管理と手帳活用術。(大室)=45分 課題(1)「時間の管理と手帳活用術」受講内容の要約(担当:山内)=45分 10/10
第4回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方 2。(秋山) = 45分 課題 (2) 「職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方」受講内容の要約(担当:山内) = 45分 $10/17$
第5回目	金銭の管理。(國分)=45分 課題(3)「金銭の管理」受講内容の要約(担当:山内)=45分 10/24
第6回目	就職活動中の者=就職指導。(学生支援委員会・学生支援課)=45分 就職内定者=就職活動についての報告会(担当:山内)=90分 10/31

第7回目	租税について。(外部講師)=45分 課題(4)「租税」受講内容の要約(担当:山内)=45分 11/7
第8回目	フィールド別ガイダンス=90分 資格取得に係る模擬問題の実施①(担当:山内)=90分 11/14
第9回目	フィールド別ガイダンス=90分 資格取得に係る模擬問題の実施②(担当:山内)=90分 11/21
第10回目	健康管理と余暇の過ごし方 1。 (穂積) =45分 進路個別面談②(担当:山内) =45分 11/28
第11回目	健康管理と余暇の過ごし方2。(穂積)。=45分 課題(5)「健康管理と余暇の過ごし方」受講内容の要約(担当:山内)=45分 12/5
第12回目	労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険。(山田)=45分 課題 (6) 「労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険」受講内容の要約(担当:山内)=45分 12/12
第13回目	自己啓発。(國分)=45分 課題(7)「自己啓発」についての感想文(担当:山内)=45分 1/9
第14回目	フィールド別ガイダンス=90分 進路個別面談③ 資格取得に係る模擬問題の実施③(担当:山内)=90分 1/16
第15回目	まとめ。(松崎ハ)=45分 キャリア教育を通して学んだこと(担当:山内)=45分 1/23

成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与 えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点= 未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容 (態度含む)		
その他		
教科書と参考図書	•	

教科書と参考図書

『就職活動ガイドブック』 (非売品のため購入する必要はない。) 参考書は講義中に適宜指示する。

履修上の心得・ルール

科目名		開講年次	開講学期	曜日・時限
Subject Name		州再午八	州再一旁	唯口 , 时以
キャリア教育 IV (観光)		2年	後期	木曜日・2時限目
Career Education IV				
単位数 授業の形態				授業の性格
1単位	演習	必修		

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

なし。

同時に履修しておくことが望まれる科目

なし。

担当者に関する情報						
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス			
(主) 松﨑勇人、各フィールドのクラス担任	授業中に指 示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します			

講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業 に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。

授業の到達目標

①就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。②職業適性理解力を身に~ けることができるようにする。③他者の価値観や個性を理解できるようにし、コミュニケーション力を身につけることができ るようにする。④職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけるこ とができるようにする。⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようにする。

授業の方法

基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的 こ関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文 章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現 を支援する。

学習の成果

第6回目

- この授業を履修すると、あなたは、
- D就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができる。
- ②職業適性理解力を身につけることができる。
- ③他者の価値観や個性を理解でき、コミュニケーション力を身につけることができる。
- ④職業を理解する力を身につけることができる。
- う進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができる。
- ⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようになる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	オリエンテーション。シラバスと評価の仕方について。(松崎ハ)。 (60分)。9/26: 就活・進路状況報告、進路報告書作成(デジタル提出)、グループ・ディスカッション①、個別指導。
第2回目	フィールド別ガイダンス。 (90分)。10/3:観光概論⑥(観光メディアの多様化)、個別指導。
第3回目	時間の管理と手帳活用術。(大室)。 (45分)。10/10:就活・進路状況報告、進路報告書作成(デジタル提出)、グループ・ディスカッション②、個別指導。
第4回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方 2 。(秋山)。 (45分)。 $10/17$:就活・進路状況報告、進路報告書作成(デジタル提出)、グループ・ディスカッション③、個別指導。
第5回目	金銭の管理。 (國分)。 (45分)。10/24:進路報告書作成(デジタル提出)、グループ・ディスカッション④、個別指導。
第6同日	進路状況別のガイダンス。(学生支援委員会・学生支援課)。

(45分)10/31;(45分)11/1;フィールド別教育(45分):進路報告書作成(デジタル提出)、個別指導。

第7回目	租税について。(外部講師)。 (45分)。11/7:進路報告書作成(デジタル提出)、グループ・ディスカッション⑤、個別指導。
第8回目	フィールド別ガイダンス。 (90分)。11/14: 観光概論⑦(感交学という新しい視点からみた観光施設)、個別指導。
第9回目	フィールド別ガイダンス。 (90分)。11/21: 観光概論®(脱開発の時代と持続可能なコミュニティ)、個別指導。
第10回目	健康管理と余暇の過ごし方1。 (穂積)。 (45分)。11/28:進路報告書作成(デジタル提出)、グループ・ディスカッション⑥、個別指導。
第11回目	健康管理と余暇の過ごし方2。(穂積)。 (45分)。12/5:進路報告書作成(デジタル提出)、グループ・ディスカッション⑦、個別指導。
第12回目	労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険。(山田)。 (45分)。12/12:進路報告書作成(デジタル提出)、グループ・ディスカッション⑧、個別指導。
第13回目	自己啓発。(國分)。 (45分)。1/9:進路報告書発表(デジタル提出)、グループ・ディスカッション⑨、個別指導。
第14回目	フィールド別ガイダンス。 (90分)。1/16:観光概論③(協働・連携としての観光)、個別指導。
第15回目	まとめ。 (松崎ハ)。 (45分)。1/23:進路報告書発表(デジタル提出)、グループ・ディスカッション⑩、個別指導。

評価の領域	戈績評価の方法と基準
	評価の領域

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与 えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート	70%	フィールド独自の課題 (70点分) を提出すること。詳細についてはクラス指導の場で伝達する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容 (態度含む)		
その他		
粉料 事 1. 幺 孝 図 事		

教科書と参考図書

『就職活動ガイドブック』 (非売品のため購入する必要はない。) 参考書は講義中に適宜指示する。

履修上の心得・ルール

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 IV (フード) Career Education IV		2年	後期	木曜日・2時限目
単位数 授業の形態				授業の性格
1単位	演習	必修		

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

to 1

同時に履修しておくことが望まれる科目

なし。

担当者に関する情報					
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス		
(主) 松﨑勇人、各フィールドのクラス担任	授業中に指 示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します		

授業の概要

講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業 に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。

授業の到達目標

① 就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。② 職業適性理解力を身につけることができるようにする。③ 他者の価値観や個性を理解できるようにし、コミュニケーション力を身につけることができるようにする。④ 職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤ 進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥ 進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥ 他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようにする。

授業の方法

基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。

学習の成果

- この授業を履修すると、あなたは、
- ①就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができる。
- ②職業適性理解力を身につけることができる。
- ③他者の価値観や個性を理解でき、コミュニケーション力を身につけることができる。
- ④職業を理解する力を身につけることができる。
- ⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができる。
- ⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようになる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	オリエンテーション。シラバスと評価の仕方について。(松崎ハ)。 夏休みの就職活動についての報告と今後の計画について(担当:藤田、60分)。9/26
第2回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「グループ面接の練習および個人面談」(担当:藤田、90分)。10/3(課題1:夏休みの就職活動を踏まえ 今後の計画を立てる)
	時間の管理と手帳活用術。(大室)。 講義の感想をグループディスカッションし、意見を発表する。(担当:藤田、45分)。10/10
	職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方 2。 (秋山) 。 講義の感想を話し合い、要点をまとめて提出する。(担当:藤田、45分)。10/17
	金銭の管理。(國分)。 講義の感想を話し合い、要点をまとめて提出する。(45分)。10/24
第6回目	進路状況別のガイダンス。(学生支援委員会・学生支援課)。 内定者:一般常識問題を解く。(90分) 就職活動中の者:個別面談を実施する。(担当:藤田、45分)10/31

第7回目	租税について。(外部講師)。 講義の感想を話し合い、要点をまとめて提出する。(担当:藤田、45分)。11/7
第8回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「栃木県の食文化を知る」(担当:藤田、90分)。11/14(課題2:栃木県の郷土料理)
第9回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「日本の食文化を知る」(担当:藤田、90分)。11/21 (課題3:行事食について)
第10回目	健康管理と余暇の過ごし方1。 (穂積)。 講義の感想を話し合い自分の健康管理について考える。(45分)。11/28
第11回目	健康管理と余暇の過ごし方2。 (穂積)。 講義の感想を話し合い要点をまとめて提出する。(45分)。12/5
第12回目	労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険。(山田)。 講義の感想をグループディスカッションし、要点をまとめて提出する。(担当:藤田、45分)。12/12
第13回目	自己啓発。(國分)。 講義の感想をグループディスカッションし、要点をまとめて提出する。(担当:藤田、45分)。1/
第14回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「世界の食文化を知る」(90分)。1/16(課題4:新暦の正月と旧正月について調べる)
第15回目	まとめ。(松崎ハ)。 キャリア教育 $I \sim IV$ を通して得たものを何かについて話し合い、まとめて提出する。 (45分)。 $1/23$

成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与 えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート	70%	20点満点の課題を4つ提出すること(課題1のみ10点)20点=各設問に対し適切に答えている。自分の意見や感想を的確にまとめている。0点=未提出や白紙。メ切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容(態度含む)		

教科書と参考図書

その他

『就職活動ガイドブック』 (非売品のため購入する必要はない。) 参考書は講義中に適宜指示する。

履修上の心得・ルール

科目名		開講年次	開講学期	曜日・時限
	Subject Name		17.5213 3 773	1,201
キャリア教育 IV (栄養)		2年	後期	木曜日・2時限目
Career Education IV				
単位数 授業の形態				授業の性格
1単位	演習	必修		

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

なし。

同時に履修しておくことが望まれる科目

なし。

担当者に関する情報					
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス		
(主) 松﨑勇人、各フィールドのクラス担任	授業中に指 示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します		

受業の概要

講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業 に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。

授業の到達目標

①就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。②職業適性理解力を身につけることができるようにする。③他者の価値観や個性を理解できるようにし、コミュニケーション力を身につけることができるようにする。④職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥世路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥世路大規できるようにする。

授業の方法

基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。

学習の成果

- この授業を履修すると、あなたは、
- D就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができる。
- ②職業適性理解力を身につけることができる。
- ③他者の価値観や個性を理解でき、コミュニケーション力を身につけることができる。
- ④職業を理解する力を身につけることができる。
- ⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができる。
- ⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようになる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	オリエンテーション。シラバスと評価の仕方について。(松崎ハ) フィールド別オリエンテーション、学外実習を終えて (担当:各クラス担任、60分) 9/26
第2回目	自身の就職活動の現状について考える、課題1:自身のこれまでの就職活動を振り返りまとめる (担当:小柳 津周、90分) 10/3
	時間の管理と手帳活用術。(大室) 行動計画について考える、学生間討議 (担当:各クラス担任、45分) 10/10
第4回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方 2。 (秋山) 自身のコミュニケーション能力について考える、学生間討議 (担当:各クラス担任、45分) 10/17
第5回目	金銭の管理。 (國分) 自身のお金の使い方について考える、学生間討議 (担当:各クラス担任、45分) 10/24
	進路状況別のガイダンス。(学生支援委員会・学生支援課)、進路未定者課題2:内定を得るための今後の就職活動について、進路内定者課題2:内定を得た就職活動について(担当:各クラス担任) 10/31

第7回目	租税について。(外部講師) 食品にかかる消費税について考える、学生間計議 (担当:各クラス担任、45分) 11/7
第8回目	ビジネスマナーについて、ビデオ視聴および学生間討議、課題3:ビジネスマナーとして必要なことは何かをまとめる (担当:穂積元、90分) 11/14
第9回目	敬語の使い方について、ビデオ視聴および学生間討議、課題4:自身の言葉づかいを振り返り、社会人としての 敬語の使い方はどうあるべきかをまとめる (担当:森田悠子、90分) 11/21
第10回目	健康管理と余暇の過ごし方1。 (穂積) 健康管理と余暇の過ごし方についての学生間討議、課題5:家族の健康を管理する上での栄養士の役割について まとめる (担当:各クラス担任、45分) 11/28
第11回目	健康管理と余暇の過ごし方2。 (穂積) 健康管理と余暇の過ごし方についての学生間討議、課題6:余暇の有効な使い方についてまとめる (担当:各 クラス担任、45分) 12/5
第12回目	労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険。(山田) クラス別個人面談② (担当:各クラス担任、45分) 12/12
第13回目	自己啓発。 (國分) 課題7:自身の2年間の大学生活を振り返りまとめる、後輩へのアドバイスなど (担当:各クラス担任、45分) 1/9
第14回目	クラス別個人面談③ (担当:各クラス担任、90分) 1/16
第15回目	まとめ。(松崎ハ) 課題8:キャリア教育を通して学んだことについてまとめる (担当:各クラス担任、45分) 1/23

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点-各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点= 未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容 (態度含む)		
その他		
粉科生レ糸老団生	•	•

教科書と参考図書

『就職活動ガイドブック』 (非売品のため購入する必要はない。) 参考書は講義中に適宜指示する。

履修上の心得・ルール

				上月 並列 (1 0) - 7 12010
科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 IV (社会福祉)		2年	後期	木曜日・2時限目
Career Education IV				
単位数	授業の形態			授業の性格
1単位	演習	必修		

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

155

同時に履修しておくことが望まれる科目

なし

担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 松﨑勇人、各フィールドのクラス担任	授業中に指 示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します	

授業の概要

講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業 に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。

授業の到達目標

① 就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。② 職業適性理解力を身につけることができるようにする。③ 他者の価値観や個性を理解できるようにし、コミュニケーション力を身につけることができるようにする。④ 職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤ 進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥ 進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥ 他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようにする。

授業の方法

基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。

学習の成果

①就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができる。

②職業適性理解力を身につけることができる。

③他者の価値観や個性を理解でき、コミュニケーション力を身につけることができる。

④職業を理解する力を身につけることができる。

⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができる。

⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようになる。

授業のスケジュールと内容

	オリエンテーション シラバスと評価の仕方について (松崎ハ) 必修科目、取得単位数確認、履修指導、みかも祭について (クラス別 60分) 9/26
第2回目	フィールド別ガイダンス 社会福祉研究ノート(卒業研究レポート) 作成について、準備 (フィールド 90分) 10/3
	時間の管理と手帳活用術 (大室) 講義を受けての感想文作成 (課題1) 担任との進路個人面談① (クラス別 45分) 10/10
第4回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方2 (秋山) 講義を受けての感想文作成「効果的なコミュニケーションとは」 (課題2) 担任との進路個人面談② (クラス別 45分) 10/17
第5回目	金銭の管理(國分) 講義を受けての感想文作成「金銭管理について」(課題3) 担任との進路個人面談③ (クラス別 45分) 10/24
第6回目	フィールド別ガイダンス。業界研究;卒業生によるキャリア講演会 施設職員 (司会;大熊) 10/31

第7回目	租税について(外部講師) 租税についての感想レポート (課題4)担任との進路個人面談④ (クラス別 45分)11/7
第8回目	フィールド別ガイダンス 社会福祉研究ノート(卒業研究レポート) 作成(フィールド 90分) 11/14
第9回目	フィールド別ガイダンス 社会福祉研究ノート(卒業研究レポート) 作成(フィールド 90分) 11/21
第10回目	健康管理と余暇の過ごし方 1 (穂積) 社会福祉研究ノート(卒業研究レポート) 作成(フィールド 45分) 11/28
第11回目	健康管理と余暇の過ごし方 2 (穂積) 健康管理と余暇の過ごし方についての感想レポート (課題 5) (クラス別 45分) 12/5
第12回目	労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険(山田) 労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険についての感想レポート (課題 6) (クラス別 45分) 12/12
第13回目	自己啓発(國分) 講義を受けての感動文「自己啓発をどのようにしていくか」 「社会福祉実習研究会」に向けての準備、指導。(クラス別 45分) 1/9
第14回目	フィールド別ガイダンス「社会福祉実習研究会」に向けての準備、指導、社会福祉研究ノート(卒業研究レポート)提出 (課題7) (フィールド 90分) 1/16
第15回目	まとめ(松崎ハ) 「社会福祉実習研究会」に向けての準備、卒業に向けて(クラス別 45分) 1/23

割合	評価の基準
30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与 えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点= 未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
	30%

教科書と参考図書

『就職活動ガイドブック』 (非売品のため購入する必要はない。) 参考書は講義中に適宜指示する。

履修上の心得・ルール

	利日 27			江利 心別 八十 ン ノ バ 2013
	科目名	開講年次	開講学期	曜日・時限
	Subject Name			
	キャリア教育 IV (介護)	2年	後期	木曜日・2時限目
Career Education IV		2年 仮列	小唯口· 2 时以口	
単位数	授業の形態			授業の性格
1単位	演習	必修		

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

なし

同時に履修しておくことが望まれる科目

なし

担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 松﨑勇人、各フィールドのクラス担任	授業中に指 示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します	

受業の概要

講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業 に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。

授業の到達目標

①就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。②職業適性理解力を身につけることができるようにする。③他者の価値観や個性を理解できるようにし、コミュニケーション力を身につけることができるようにする。④職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥地路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようにする。

授業の方法

基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。

学習の成果

①就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができる。

②職業適性理解力を身につけることができる。

③他者の価値観や個性を理解でき、コミュニケーション力を身につけることができる。

①職業を理解する力を身につけることができる。

⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができる。

⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようになる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	オリエンテーション シラバスと評価の仕方について (松崎ハ) 必修科目・取得単位数確認し履修指導(クラス別 60分) 9/26
第2回目	フィールド別ガイダンス 将来を見据えた進路の意識づけ(和田・新井)(フィールド 90分) 10/3
第3回目	時間の管理と手帳活用術 (大室) 講義を受けての感想文【課題①】 (クラス別 45分) 10/10
第4回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方2 (秋山) 講義を受けての感想文「コミュニケーション時に注意していること」【課題②】 (クラス別 45分) 10/17
第5回目	金銭の管理(國分) 講義を受けての感想文「これからの自身の金銭管理をどのようにしていくか」【課題③】 (クラス別 45分) 10/24
第6回目	業界研究;卒業生によるキャリア講演会 施設職員 (司会;大熊) 10/31

第7回目	租税について(外部講師) 講義を受けての感想文「講義を聴いて学んだこと、これからに生かしていきたいこと」【課題④】(クラス別 45分)11/7
第8回目	フィールド別ガイダンス 事例研究のまとめ(和田)(フィールド 90分) 11/14
第9回目	フィールド別ガイダンス 事例研究のまとめ(和田)(フィールド 90分) 11/21
第10回目	健康管理と余暇の過ごし方1(穂積) 共通試験対策(新井・久保)(フィールド 45分) 11/28
第11回目	健康管理と余暇の過ごし方 2 (穂積) 講義を受けての感想文「私の健康管理、余暇の過ごし方」【課題⑤】 (クラス別 45分) 12/5
第12回目	労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険(山田)講義を受けての感想文「講義を聴いて学んだこと、これからに生かしていきたいこと」【課題⑥】(クラス別 45分)12/12
第13回目	自己啓発(國分) 講義を受けての感想文「自己啓発をどのようにしていったらいいか」【課題⑦】(クラス別 45分) 1/9
第14回目	フィールド別ガイダンス 共通試験対策 (新井・久保) (フィールド 90分) 1/16
第15回目	まとめ(松崎ハ) 共通試験対策(クラス別 45分) 1/23

成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与 えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。

レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。

調査報告書

中間	•	学期末試験

発表内容	(態度含む)
------	--------

教科書と参考図書

その他

『就職活動ガイドブック』 (非売品のため購入する必要はない。) 参考書は講義中に適宜指示する。

履修上の心得・ルール

2年

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 IV (児童) Career Education IV		2年	後期	木曜日・2時限目
単位数 授業の形態				授業の性格
1単位	演習	必修		

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

なし。

同時に履修しておくことが望まれる科目

なし。

担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 松﨑勇人、各フィールドのクラス担任	授業中に指 示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します	

授業の概要

講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業 に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。

授業の到達目標

① 就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。② 職業適性理解力を身につけることができるようにする。③ 他者の価値観や個性を理解できるようにし、コミュニケーション力を身につけることができるようにする。④ 職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤ 進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥ 他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようにする。

授業の方法

基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。

学習の成果

- この授業を履修すると、あなたは、
- ①就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができる。
- ②職業適性理解力を身につけることができる。
- ③他者の価値観や個性を理解でき、コミュニケーション力を身につけることができる。
- ④職業を理解する力を身につけることができる。
- ⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができる。
- ⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようになる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	オリエンテーション。シラバスと評価の仕方について (松崎ハ)。 履修指導、秋期予定。小論文返却 (クラス別:60分) 9/26
第2回目	フィールド別ガイダンス。 就職活動状況の確認。求人票の見方について。(クラス別:90分)10/3
	時間の管理と手帳活用術(大室)。 就職活動状況の確認。担任との進路個人面談①。講義に基づく課題1。(クラス別:45分)10/10
第4回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人とのつきあい方2 (秋山)。 就職活動状況の確認。担任との進路個人面談②。講義に基づく課題2。 (クラス別:45分) 10/17
第5回目	金銭の管理(國分) 就職活動状況の確認。担任との進路個人面談③。講義に基づく課題3。(クラス別:45分)10/24
第6回目	保育士登録申請指導(全体)。 氏名・本籍確認票配布と回収10/31

第7回目	租税について(外部講師) 保育士登録申請書類回収。講義に基づく課題 4。 (クラス別:45分) 11/7
第8回目	フィールド別ガイダンス。 就職活動状況の確認。担任との進路個人面談④。保育キャリアに関するディスカッション。(クラス別:90分) 11/14
第9回目	フィールド別ガイダンス。 就職活動状況の確認。担任との進路個人面談⑤。保育キャリアに関するディスカッション(クラス別:90分) 11/21
第10回目	健康管理と余暇の過ごし方1 (穂積) 就職活動状況の確認。担任との進路個人面談⑥。講義に基づく課題5。 (クラス別:45分) 11/28
第11回目	健康管理と余暇の過ごし方 2 (穂積) 就職活動状況の確認。担任との進路個人面談⑦。講義に基づく課題 6。(クラス別:45分)12/5
第12回目	労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険(山田) 就職活動状況の確認。担任との進路個人面談⑧。講義に基づく課題 7 。(クラス別:45分)12/12
第13回目	自己啓発 (國分) 年度末試験・卒業に向けての予定確認。 (クラス別:45分) 1/9
第14回目	フィールド別ガイダンス。 就職活動状況の確認。担任との進路個人面談⑨。保育キャリアに関するディスカッション(クラス別:90分) 1/16
第15回目	まとめ (松崎ハ) 卒業までの日程確認。 (クラス別:45分) 1/23

成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容(態度含む)		
その他		

教科書と参考図書

『就職活動ガイドブック』 (非売品のため購入する必要はない。) 参考書は講義中に適宜指示する。

履修上の心得・ルール

				佐野 歴期 八子 ノ ノハス2013
科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
	キャリア教育 IV (英語)		後期	木曜日・2時限目
	Career Education IV			
単位数	単位数 授業の形態			授業の性格
1単位	演習	必修		

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

なし。

同時に履修しておくことが望まれる科目

なし。

担当者に関する情報					
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス		
(主) 松﨑勇人、各フィールドのクラス担任	授業中に指 示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します		

講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業 に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。

授業の到達目標

①就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。②職業適性理解力を身に~ けることができるようにする。③他者の価値観や個性を理解できるようにし、コミュニケーション力を身につけることができ るようにする。④職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけるこ とができるようにする。⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようにする。

授業の方法

基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的 こ関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文 章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現 を支援する。

学習の成果

この授業を履修すると、あなたは、

- D就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができる。
- ②職業適性理解力を身につけることができる。
- ③他者の価値観や個性を理解でき、コミュニケーション力を身につけることができる。
- ④職業を理解する力を身につけることができる。
- ⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができる。⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようになる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	オリエンテーション。シラバスと評価の仕方について。(松崎ハ)。 夏休み中の就職活動についての報告と今後の計画についてひとり5~10分の個別面談を実施する(60分)。9/26
	文 10 / 10
第2回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「グループ面接の練習②」 (90分)。10/3
	時間の管理と手帳活用術。(大室)。 講義への感想をグループディスカッションで話し合い、意見を発表する【課題①】(45分)。10/10
第4回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方2。(秋山)。 講義1(6/28)の自分の意見を読み直し、今回の講義の感想を話し合い要点をまとめて書き、提出する【課題②】 (45分)。10/17
第5回目	金銭の管理。(國分)。 講義への感想についてグループディスカッションを行い、意見を発表する(45分)。10/24
	進路状況別のガイダンス。(学生支援委員会・学生支援課)。 内定者:一般常識問題を解く(90分)。 就職活動中の者:個別面談を実施する(45分)10/31

第7回目	租税について。(外部講師)。 講義への感想をグループディスカッションで話し合い、要点をまとめて書いて提出する【課題③】(45分)。11/7
第8回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「社会人としての心得①」(90分)。11/14
第9回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「社会人としての心得②」第1回の内容と合わせて「社会人としての心得」と題して感想を書く【課題 ④】(90分)。11/21
第10回目	健康管理と余暇の過ごし方1。(穂積)。 講義への感想をグループディスカッションで話し合い、要点をまとめて書いて提出する【課題⑤】(45分)。 11/28
第11回目	健康管理と余暇の過ごし方2。 (穂積)。 前回の自分の感想を読み返し、今回の講話と合わせた感想を話し合い、発表する(45分)。12/5
第12回目	労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険。(山田)。 講義への感想をグループディスカッションで話し合い、要点をまとめて書いて提出する【課題⑥】(45分)。 12/12
第13回目	自己啓発。(國分)。 講義への感想をグループディスカッションで話し合い、要点をまとめて書いて提出する【課題⑦】(45分)。1/9
第14回目	フィールド別ガイダンス。 テーマ「職場での人との付き合い方:多国籍企業の場合」(90分)。1/16
第15回目	まとめ。(松崎ハ)。 キャリア教育 I ~IVを通して得たものは何かについて話し合い、発表する(45分)。1/23

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与 えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点= 未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容 (態度含む)		
その他		
粉乱ました老回ま		•

教科書と参考図書

『就職活動ガイドブック』 (非売品のため購入する必要はない。) 参考書は講義中に適宜指示する。

履修上の心得・ルール

				正式 心別 八子 シ ノ バ 2016
科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 IV (ビジネス) Career Education IV		2年	後期	木曜日・2時限目
単位数 授業の形態				授業の性格
1単位	演習	必修		

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

t> 1

同時に履修しておくことが望まれる科目

なし。

担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 松﨑勇人、各フィールドのクラス担任	授業中に指 示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します	

授業の概要

講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業 に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。

授業の到達目標

① 就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。② 職業適性理解力を身につけることができるようにする。③ 他者の価値観や個性を理解できるようにし、コミュニケーション力を身につけることができるようにする。④ 職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤ 進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥ 他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようにする。

授業の方法

基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。

学習の成果

- この授業を履修すると、あなたは、
- ①就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができる。
- ②職業適性理解力を身につけることができる。
- ③他者の価値観や個性を理解でき、コミュニケーション力を身につけることができる。
- ④職業を理解する力を身につけることができる。
- ⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができる。
- ⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようになる。

授業のスケジュールと内容

125715	
第1回目	オリエンテーション。シラバスと評価の仕方について。(松崎ハ)。 進路個別面談、進路活動報告、履修再考(60分)。9/26
第2回目	フィールド別ガイダンス。 進路個別面談、進路活動報告、今後の学生生活の目標と計画を立てる。(90分)。10/3
	時間の管理と手帳活用術。 (大室)。 進路個別面談、進路活動報告、時間の管理と手帳活用術について まとめ。提出①(45分)。10/10
	職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方2。 (秋山)。 進路個別面談、進路活動報告、職場でのコミュニケーション、人との付き合い方について まとめ。提出②(45 分)。10/17
第5回目	金銭の管理。 (國分)。 進路個別面談、進路活動報告、金銭の管理について まとめ。提出③(45分)。10/24
	連路状況別のガイダンス。(学生支援委員会・学生支援課)。 連路個別面談、進路活動報告、行動計画10/3の反省と再考、進路決定者(90分)、進路活動者(45分)10/31

第7回目	租税について。(外部講師)。 進路個別面談、進路活動報告、租税について まとめ。提出④(45分)。11/7
第8回目	フィールド別ガイダンス。 進路個別面談、進路活動報告、社会人としての心構えと何か (90分)。11/14
第9回目	フィールド別ガイダンス。 進路個別面談、進路活動報告、社会人としての心構えと準備 (90分)。11/21
第10回目	健康管理と余暇の過ごし方1。 (穂積)。 進路個別面談、進路活動報告、健康管理と余暇の過ごし方1について まとめ。(45分)。11/28
第11回目	健康管理と余暇の過ごし方2。 (穂積)。 進路個別面談、進路活動報告、健康管理と余暇の過ごし方2について まとめ。提出⑤(45分)。12/5
第12回目	労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険。(山田)。 進路個別面談、進路活動報告、労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険について まとめ。提出⑥(45 分)。12/12
第13回目	自己啓発。(國分)。 労働者の生活を守る制度、自己啓発について まとめ。提出⑦(45分)。1/9
第14回目	フィールド別ガイダンス。 進路個別面談、進路活動報告、社会人としての心構えと準備について再考(90分)。1/16
第15回目	まとめ。(松崎ハ)。 進路個別面談、進路活動報告のまとめ、キャリア教育で学んだことについて まとめ。(45分)。1/23

成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与 えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容 (態度含む)		
その他		

教科書と参考図書

『就職活動ガイドブック』 (非売品のため購入する必要はない。) 参考書は講義中に適宜指示する。

履修上の心得・ルール

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 IV (医療事務)		2年	後期	木曜日・2時限目
Career Education IV 単位数 授業の形態				授業の性格
1単位	演習	必修		

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

なし。

同時に履修しておくことが望まれる科目

なし。

	担当者に関する情報					
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス			
(主) 松﨑勇人、各フィールドのクラス担任	授業中に指 示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します			

業の概要

講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業 に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。

授業の到達目標

①就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。②職業適性理解力を身につけることができるようにする。③他者の価値観や個性を理解できるようにし、コミュニケーション力を身につけることができるようにする。④職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥世路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥世路大規できるようにする。

授業の方法

基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的 に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。

学習の成果

この授業を履修すると、あなたは、

- D就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができる。
- ②職業適性理解力を身につけることができる。
- ③他者の価値観や個性を理解でき、コミュニケーション力を身につけることができる。
- ④職業を理解する力を身につけることができる。
- ⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができる。
- ⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようになる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	9/26 全体講義:オリエンテーション。シラバスと評価の仕方について。(松崎ハ)。 クラス指導(60分):就活状況報告(レポート課題1)。検定申し込みの連絡(ICD、医療秘書、医事コン)
第2回目	10/3 クラス指導(90分):内定者は検定対策。未内定者は個人面談、求人検索、時事問題レポート作成。
第3回目	10/10 全体講義:時間の管理と手帳活用術。 (大室)。 クラス指導(45分):全体講義のまとめレポート作成 (レポート課題2)。
第4回目	10/17 全体講義:職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方2。(秋山)。 クラス指導(45分):全体講義のまとめレポート作成
第5回目	10/24 全体講義:金銭の管理。(國分)。 クラス指導(45分):全体講義のまとめレポート作成(レポート課題3)。
第6回目	10/31 未内定者:全体講義:進路状況別のガイダンス。(学生支援委員会・学生支援課)。その後クラス指導 (45分)。 内定者:クラス指導(90分)。資格取得対策。「就職活動の仕方」プレゼン作成。

第7回目	11/7 全体講義:租税について。(外部講師)。 クラス指導(45分):全体講義のまとめレポート作成(レポート課題4)。
第8回目	11/14 クラス指導(90分): 求人検索、医療事務課題。必要に応じて個人面談。内定者は「就職活動の仕方」プレゼン作成。 検定の申し込み連絡(メディカルクラーク)
第9回目	11/21 クラス指導(90分): 求人検索、医療事務課題。必要に応じて個人面談。内定者は「就職活動の仕方」プレゼン作成。
第10回目	11/28 全体講義:健康管理と余暇の過ごし方1。(穂積)。 クラス指導(45分):全体講義のまとめレポート作成。
第11回目	12/5 全体講義:健康管理と余暇の過ごし方2。(穂積)。 クラス指導(45分):全体講義のまとめレポート作成(レポート課題5)。
第12回目	12/12 全体講義:労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険。(山田)。 クラス指導(45分):全体講義のまとめレポート作成(レポート課題6)。
第13回目	1/9 全体講義:自己啓発。(國分)。 クラス指導(45分):全体講義のまとめレポート作成(レポート課題 7)。
第14回目	1/16 クラス指導(90分): 求人検索、医療事務課題。必要に応じて個人面談。内定者は「就職活動の仕方」プレゼン作成。
第15回目	1/23 全体講義:まとめ。(松崎ハ)。 クラス指導(45分):「就職活動の仕方」プレゼン提出。

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与 えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点= 未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容 (態度含む)		
その他		
粉料車レ糸老図車		

教科書と参考図書

『就職活動ガイドブック』 (非売品のため購入する必要はない。) 参考書は講義中に適宜指示する。

履修上の心得・ルール

				正对 应为人] • 7 · 7 · 2016
科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 IV (情報) Career Education IV		2年	後期	木曜日・2時限目
1単位	演習	必修		

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

to 1

同時に履修しておくことが望まれる科目

なし。

担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 松﨑勇人、各フィールドのクラス担任	授業中に指 示します。	授業中に指示します。	授業中に指示します	

授業の概要

講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業 に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。

授業の到達目標

① 就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。② 職業適性理解力を身につけることができるようにする。③ 他者の価値観や個性を理解できるようにし、コミュニケーション力を身につけることができるようにする。④ 職業を理解する力を身につけることができるようにする。⑤ 進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができるようにする。⑥ できるようにする。⑥ 他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようにする。

授業の方法

基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。

学習の成果

- この授業を履修すると、あなたは、
- ①就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができる。
- ②職業適性理解力を身につけることができる。
- ③他者の価値観や個性を理解でき、コミュニケーション力を身につけることができる。
- ④職業を理解する力を身につけることができる。
- ⑤進路実現のためのスキル(技術)を身につけることができる。
- ⑥他者の考えを理解し、自分の考えを筋道を立てて述べたり、文章で表現できるようになる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	オリエンテーション。シラバスと評価の仕方について。(松崎ハ)。 自己評価①、個人面談(60分)。9/26
第2回目	フィールド別ガイダンス。 気になったニュース②、個人面談 (90分)。 10/3
	時間の管理と手帳活用術。 (大室) 。 個人面談(45分)。10/10
	職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方 2 。(秋山)。 個人面談 $(45分)$ 。 $10/17$
	金銭の管理。(國分)。 個人面談(45分)。10/24
	進路状況別のガイダンス。(学生支援委員会・学生支援課)。 個人面談(45分)10/31

第7回目	租税について。(外部講師)。 講義に対するレポート③、個人面談(45分)。11/7
第8回目	フィールド別ガイダンス。 気になったニュース④、個人面談 (90分)。11/14
第9回目	フィールド別ガイダンス。 気になったニュース⑤、個人面談 (90分)。11/21
第10回目	健康管理と余暇の過ごし方1。 (穂積)。 個人面談(45分)。11/28
第11回目	健康管理と余暇の過ごし方 2。 (穂積)。 個人面談(45分)。12/5
第12回目	労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険。(山田)。 講義に対するレポート⑥、個人面談(45分)。12/12
第13回目	自己啓発。(國分)。 個人面談(45分)。1/9
第14回目	フィールド別ガイダンス。 気になったニュースについて発表、個人面談 (90分)。 1/16
第15回目	まとめ。(松崎ハ)。 自己評価⑦、個人面談(45分)。1/23
_	

成績評価の万法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与 えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点= 未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容(態度含む)		
その他		
数科書レ糸老図書	•	•

教科書と参考図書

『就職活動ガイドブック』 (非売品のため購入する必要はない。) 参考書は講義中に適宜指示する。

履修上の心得・ルール